

学習指導案 4 / 9

(1) 指導目標

「雨のうた」の範奏を聴いたり、イ短調及びハ長調の楽譜を見たりして、演奏する学習に主体的に取り組むことができるようにする。

(2) 展開

過程	学習活動	教師の指導 (○)・支援 (●)・発問 (★)	評価規準と評価方法
導 入 ／	0 音楽遊びをする。	○リズム模倣をして、楽しく学習が始められるようにする。	
	1 めあてをつかむ。	○題名から曲の感じを予想させた後、「雨のうた」の合奏に取り組むことを伝える。	
展 開	曲の感じをつかみ、「雨のうた」の主な旋律と副次的な旋律を演奏しよう。		
	2 曲の感じをつかみ、どのように歌いたいが見通しをもつ。	○楽譜を基に、主な旋律、副次的な旋律、伴奏（低音・和音）に当たる部分と演奏の順序を確認する。	
	(1) 「雨のうた」を聴く。	○「雨のうた」の ア と イ の部分を比較聴取させ、調の違いによる和声の響きの違いに着目させるようにする。	
	★「雨のうた」の ア と イ の部分では、それぞれ、どのような雨の様子を想像しますか。なぜ、そのように感じたと思いますか。		
(2) 聴き取り、感じ取ったことを「音楽を形づくっている要素」と関連付けながら、曲のよさや面白さをつかむ。	○楽譜を基に、調の他にどのような違いがあるのか音楽の縦と横の関係から考えさせ、曲のよさや面白さをつかませるようにする。		
開	★ ア と イ の楽譜を比べ、「調」の他に、どのような違いがあるか見つけましょう。		
		○拡大楽譜で確認しながら再度「雨のうた」を聴かせ、旋律の重なり方や伴奏の演奏の仕方の違いに気付かせるようにする。	
	3 主な旋律と副次的な旋律を演奏する。	○楽譜を基に、主な旋律と副次的な旋律の重なり方を確認する。	

展 開	(1) 曲のよさや面白さが伝わるように、自分はどうのように演奏したいか見通しをもつ。	○曲のよさや面白さを確認し、それらに即して、どのように演奏したいかの見通しをもつことができるようにする。	「雨のうた」の範奏を聴いたり、ハ長調及びイ短調の楽譜を見たりして演奏する学習に見通しをもち、主体的に取り組もうとしている。 【関② ワークシート・行動観察】
		★曲のよさや面白さが伝わるように、どのように演奏したいですか。	
／ ま と め	(2) リコーダーで主な旋律と副次的な旋律を練習する。	○ソ#の運指を確認し、正しい音程で演奏ができるようにする。 ○自由に練習ができる時間を設け、自分に必要な練習ができるようにする。	
	(3) 主な旋律と副次的な旋律に分かれて演奏する。	○主な旋律と副次的な旋律に分かれて、CDに合わせて演奏させ、イ短調とハ長調の和声の響を感じながら演奏させる。	
4	次時の学習を知る。	○次時は、伴奏の部分の演奏を工夫する学習に取り組むことを確認する。 ○本時のめあてを振り返らせ、次時への意欲を高めさせる。	

〈評価規準と評価方法〉

「雨のうた」の範奏を聴いたり、ハ長調及びイ短調の楽譜を見たりして演奏する学習に見通しをもち、主体的に取り組もうとしている。【関② ワークシート・行動観察】		
十分満足 (A) と判定する目安	おおむね満足 (B) と判定する目安	●どのように演奏するかについて見通しをもつことができない児童には、友達の発表内容や板書内容を参考にさせる。
「雨のうた」の曲の特徴や面白さをつかみ、どのように演奏していくのかについての見通しをワークシートに書き、リコーダーで10回以上練習できている。	「雨のうた」の曲の特徴や面白さをつかみ、どのように演奏していくのかについての見通しをワークシートに書き、リコーダーで5回以上練習できている。	